

「経営情報イノベーション研究」巻頭言

経営情報イノベーション研究科長

金 川 幸 司

このたび、経営情報イノベーションの第3巻を発刊することができました。当経営情報イノベーション研究科も4年目を迎え、昨年度末には、博士課程の修了生を送り出すことができました。この「経営情報イノベーション」は、大学院生にも投稿を認めており、その論考を世に出す機会を提供しています。

当研究科は、経営、公共政策、情報分野から成り立っていますが、今日の社会の諸課題の解決に当たっては、経済学、経営学、政治学、行政学、情報学など、様々な学問が融合していかなければならないものばかりといっても過言ではありません。

たとえば、震災復興といったテーマを考えて見た場合、企業の復興、産業振興や雇用の確保、居住環境の整備、インフラの整備、少子高齢化への対応など、様々な課題に対してそれぞれの学問が英知を結集し、知見を出し合うことで、地域社会を再興していく必要があります。

その意味でも、各学問領域の枠だけにとらわれない融合的研究がさらに求められていくことと思われます。本紀要もそういった社会の要求に応えるべく、さらに多くの研究成果の発表を期待したいと思います。

最後に、紀要の編集に長年携わってこられた本研究科の小島茂教授の急逝について、ご冥福をお祈りいたしますとともに、新しいスタッフで本研究科紀要をさらによいものとしていくことを誓って巻頭言に代えさせていただきます。